

事業概要【生産者が安心して取り組める魅力的で持続可能な水産業促進事業】

申請者	山形県					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	93,981千円 (31,327千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	農林水産分野
目的・効果	水産業を取り巻く、漁業の担い手の減少、気候変動等による漁場環境の変化及び水産資源の減少等の課題を克服し、漁村及び内水面漁業地域の振興を図るため、県、市町村、水産業者、県民等が一体となって事業に取り組み、本県の水産業を持続し成長する魅力ある産業にしていく。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	【ソフト事業経費】 ○庄内浜トップブランド水産物創出事業費 ・漁業者や自治体で構成する県産魚種のブランド化を進める団体への負担金 800千円 ○庄内浜の魚消費拡大事業費 ・漁業者や流通業者で構成する県産水産物の消費拡大のためのイベント等実施する団体への負担金 1,035千円 ○庄内浜文化伝道師による魚食普及事業費 ・庄内浜文化伝道師による魚食普及活動経費等 1,985千円 ○水産資源活用強化事業費 ・水産加工品の開発にかかる経費等 824千円 ○担い手育成にかかる浜のコーディネート事業費 ・担い手確保に向けた地域毎のマスタープラン作成費用等 5,653千円 ○がんばる水産業応援事業費 ・漁業者等が実施する成長産業化等に資する事業に対する補助金等 21,030千円					 ブランド「庄内北前ガニ」  消費拡大のためのイベント「魚まつり」	 庄内浜文化伝道師の料理講座  担い手確保に向けた研修の様子

■具体的な交付金の使途及び実施体制

事業内容（設備・備品）		支出方法	支援対象者	山形県	事業推進主体		委託先等		連携市町村
				役割	名称（関係性）	役割	名称（関係性）	委託内容	
庄内浜トップブランド水産物創出事業費									
1	庄内浜ブランド創出協議会を支援 ・県産魚種のブランド化にむけた会議、ブランド魚種に関する料理人育成のための技術講習会、蓄養、流通における実証試験等を実施	負担金		・全体の進捗管理 ・関係者との調整	飲食店、流通関係者、沿岸市町等（庄内浜ブランド創出協議会からの委託等）	内陸地域での庄内浜水産物の消費拡大、漁家所得向上に向けた事業を実施			
庄内浜の魚消費拡大事業費									
2	庄内浜の魚消費拡大プロジェクト推進本部を支援 ・県民向けイベントの実施、水産加工品の販路拡大（商談会や講習会）、やまがた庄内浜の魚応援店の認定及び情報発信、量販店向けのPR資材の作成・配布を実施	負担金		・全体の進捗管理 ・関係者との調整	漁業者、漁協、流通業者、飲食店等（庄内浜の魚消費拡大プロジェクト推進本部からの委託等）	魚種の特徴に合わせた様々な戦略を関係者で推進し、庄内浜の魚のブランド化を効果的に推進			
庄内浜文化伝道師による魚食普及事業費									
3	伝道師講座	報酬		・食育・料理教室を実施	(同左)				
		需用費							
	キャンペーン及び観光事業（解体ショー）	報償費		・キャンペーンや観光事業を開催	(同左)				
		需用費							
	情報発信（伝道師ラジオ出演及びレシピ動画作成）	報償費		・ラジオ番組やレシピ動画への出演を依頼 ・動画作成を委託	(同左)	動画作成業者（山形県からの委託）	・動画作成		
		委託料							
	伝道師認定試験	需用費		・伝道師の認定試験を実施	(同左)				
		使用料							
水産資源活用強化事業費									
4	加工品開発業者に向けた勉強会や個別相談	委託料		・勉強会の講師を委託 ・県水産研究所での研究開発	(同左)	流通業者等（山形県からの委託等）	・消費者ニーズを学ぶ勉強会の講師		
	低・未利用魚の活用及び介護食・乳児食の加工品開発	需用費							
担い手育成にかかる浜のコーディネート事業費									
5	地域ごとの担い手確保に向けた戦略作成	委託料		・地域ごとの担い手確保に向けた戦略作成の委託	(同左)	水産業のコンサルティング会社（山形県からの委託）	・地域ごとの担い手確保に向けたマスタープラン作成		
がんばる水産業応援事業費									
6	現場のニーズに対応した漁業者等のチャレンジを支援すべく、申請者からの提案による事業を幅広く支援	補助金	水産業者	・市町村を通じて採択事業の実施者へ補助	(同左)				